

KSKP

たびだち つうしん

出

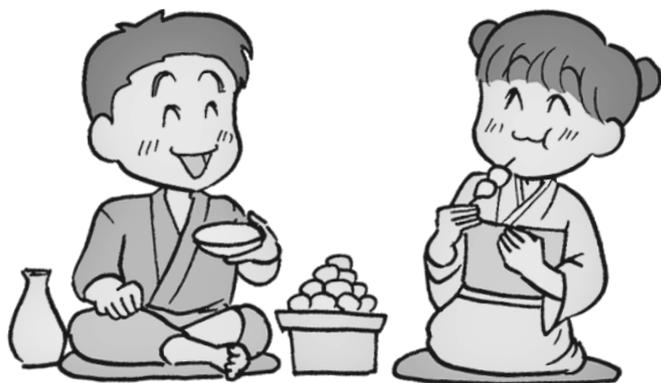
発

通

信

NPO法人 出発のなかまの会

167号



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

目次

わたし おも とど 私たちの思いを届けよう	2
なつ 夏のふれーぱーく	3
たんとうちょう りょこう 但東町 キャンプ旅行	4
たびだち かい しゅうねん きかく しんこうちゅう 出発のなかまの会40周年企画 進行中!	5
しんぶん どんどん新聞より	6
こそだ にっき スタッフ子育て日記	7
わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ	8
そうかい そうかい お NPO総会&どんどん総会を終えて	9
かつどう 活動のあと	10

わたし おも とど 私たちの思いを届けよう

7月の参議院議員選挙で重度障害者の2名が当選し、注目されていますが、行政による制度設計や想定は、議員になられた2名のように就労することや、多くの重度障害者が地域の一員としてあたりまえに地域生活を送っている実情を認識しておらず、必要なことが制度化されていないことが多いです。

さて、7月16、17日に開催された障害当事者と大阪府との話し合いの場であるオールラウンド交渉でも、重度障害者の生活を支える重度訪問介護について入院時利用や熟練ヘルパーの同行支援、大学就学支援、長時間介護の支給決定の市町村格差など多くの問題が取り上げられました。また、私鉄をはじめとする交通機関や観光地、商業施設などのバリアフリー促進も障害者差別解消法の合理的配慮の観点からも行政が積極的に関わるとの意見が多く出ました。

当会もどんどのメンバーとスタッフが、お揃いの黄色のTシャツを着て、一致団結して参加しました。どんどんでは交渉の1か月前頃から、勉強会を重ねます。「入院した時に支援者がいないのは困る!」「ヘルパーさんとプールやカラオケに行ったときに入り口で別れるなんて無理!」「グループホームに個別ヘルパーは必要だ!」「入所施設は絶対反対!」など、自分たちの生活に直結する問題について、意見を出し合い、だれが代表して発言するかを決めます。相談しながら発言文を考えると、交渉の前に発言の練習をします。はじめはみんなの前で話すのが恥ずかしかったり、伝えたい意見がまとまらなかったりして小さい声でしか発言できなかった人も、みんなの熱量に支えられ、自信もつくようで、最後は大きな声で発言できるようになり、本番の交渉に臨みます。

交渉当日は数百人の参加者に埋もれないように、積極的に手を上げ、マイクをもらい、緊張しながらも一生懸命に自分たちの思いを大阪府の職員に伝えていました。

「私たちの思いをしっかり聞いてくれ」「私たち抜きに私たちの事を決めるな」との思いで、熱意と誇りを持って地道に活動しているどんどのみなさんとともに、これからも必要なことは声を大にして訴え続けていきたいと思ひます。



(シンペイ・H)

夏のぴれーぱーく

今年は梅雨明けが遅く、もしかしてこのまま夏も涼しいのかしら？と思っていた私は甘かったです。梅雨明けとともに酷暑がやってきて、携帯電話の防災アプリが毎日「熱中症に注意。屋外の運動は原則禁止」とお知らせしてくるようになりました。夜に家に帰っても室内の気温が30度もあるというのに、今年も甲子園では熱闘が繰り広げられています。近年の高校野球の人気は異常です。今大会からは全席が有料チケット制となり、球場の混雑は緩和されたのかもしれませんが、チケットを買えなかったメンバーは球場に入ることさえできなくなってしまいました。毎年、夏の甲子園観戦を楽しみにしていたメンバーにとっては大変悲しいことです。原則運動禁止の気候のなか澆刺とプレーする選手が倒れないだろうかと心配してしまうのは余計なお世話でしょうか。

さて、ヨルダンひろばでは昨年に引き続き、ぴれーぱーくをおこないました。メインの遊び場は手作りのプールです。ブルーシートと板をつかって組み立てます。板は幅30センチ、長さ90センチ、厚みが4センチほどの合板です。22枚の板をサークル状に並べて結束バンドで連結して、ブルーシートを被せるだけのシンプルなつくりなのですが、小さな子どもたちには十分な広さです。バケツで水を掛け合ったり、滑り台を滑り降りたりして、思い思いに遊んでいました。かき氷はセルフで作



り、好きなフレーバーの蜜をかけます。「コーラとブルーハワイとイチゴのミックス！」と自分だけのオリジナルかき氷のできあがり。たこ焼きも人気です。プールに入っていると寒くなってくるのです。流しそうめんでは流れてくる麺を掬うのに必死で竹から直接口に運んでいる子どもの姿がありました。ホースのシャワーで水を撒きながらビーチバレーもしました。そして、ぴれーぱーくの締めはスイカ割りです。協力企業の提供で大玉スイカを用意することができました。目隠しをして、グルグル回ってからスタート！割れたスイカは子どもたちみんな美味しくいただきました。



今回は親子での参加者が多かったように思います。11時から15時という限られた時間でしたが100人近い人が遊びに来てくれました。「大人がいっぱい声かけてくれてうれしかった！USJよりサービスがいいで！また自分も手伝いに行くわ」と言っていた子もいます。楽しかったようでなにより。来年もお手伝い待っています！

(カオリ・I)

たんとうちょう りょこう
但東町キャンプ旅行

6月12日、13日と懐かしの但東町にあるキャンプ場に行ってきました。メンバーにとっては子供の頃に行った思い出の地であり、私にとっても子供の頃につれて行かれた思い出の地でもあります。なぜ但東町に来たかと言うと、このキャンプ場を完全に引き払う準備のために来ました（その前にキャンプ場について知らない人の方が多いような気がします）。まず着いて驚いたのは、『出発の家』の前にあった森が無くなっていました。同じ場所かと思うくらいキャンプ場が太陽の光に照らされていました。『これなら湿気る事はないだろう』と思って中に入ると、やっぱりカビ臭かったです。

『遊工房』や『楽山荘』からは、何やらよく分からないものやら、テレビでしか見られないような道具が出てきたりしました。鍵は閉まっていたはずなのにソファの上には蛇の抜け殻がありました。余程、環境が良かったのかここで脱皮したようです。まだ使えそうな物を持って帰るため、みんなで外に運び出してみると、持って帰れるか心配になるくらいの量になりましたが、無理矢理車に詰めることに成功しました。途中、ヒルに襲われたりもしましたが無事に追い払い、最後にみんなで『出発の家』の前で記念撮影をしました。思い出の場所がなくなると思うと寂しくもありますが、『ありがとう』と心の中で言ってお別れです。

2日目は、出石町へ行きました。豊岡市は革製品で有名なので、『鞆工房』というお店で皮を使ったキーホルダーや財布を作りました。いろいろな色のパーツがあるのでどれにするかを選ぶのに時間がかかりましたが、難しいと思っていた作業はみんな簡単に出来ました。その後はみんなで出石町を散策、但馬の小京都なので古い建物が色々ありました。でっかい時計台やお城、芝居小屋も見つけましたが休館日なので入れませんでした。また、建物だけでなく昔のブリキの看板が飾ってありました。と思ったら売り物でした。1万円から1万5千円。高いのか、安いのか分かりません。オロナミンCの看板をじっと見ているメンバーもいました。最後に名物の皿そばのお店を探してうろうろ、あちこちにお店はありますがなかなか決まらず30分以上うろうろ、声をかけてくれたお店に入って注文して出てきたのは、小さい皿にのったお蕎麦が5枚、追加で3枚、これでも足りるかなーと思っていましたが予想外に満足でした。2日間で懐かしい場所を回ってメンバーだけで無くスタッフも満足のいく旅行でした。キャンプ場はなくなるけど、また行く機会があればいいなと思います。

(ジロウ・K)

たびだち かい しゅうねんきかく しんこうちゅう 出発のなかまの会40周年企画 進行中！

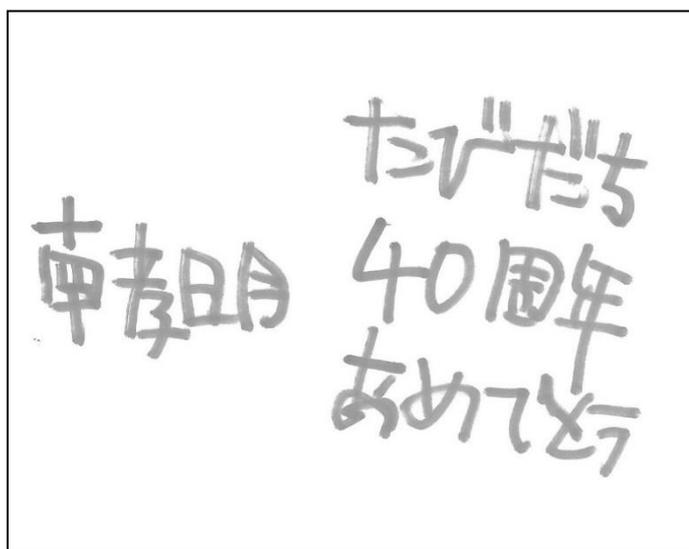
こんねんど かい せつりつ しゅうねん きねん きねんしゅしんしゅう さくせい きねんこうえんかい じっし
今年度は会の設立40周年を記念して、記念写真集の作成、記念講演会の実施、メモリプ
レイの上演を企画しています。ここでは、その企画のひとつ『メモリプレイ』について説明
したいと思います。メモリプレイとは、かんたん い おも で わす て きごと
劇にして演じること」です。ということは…、たびだち かい ねんぶん おも で て きごと
を振り返り、スタッフやメンバーが演じよう！という企画です。企画に参加しているスタッ
フは若手からベテランまで様々です。若いスタッフは先輩スタッフにインタビューをして、
「これは伝えたい！」というイチオシのエピソードを持ち寄って話し合いました。皆が熱
量を持って話し合うのでいろいろな意見が飛び交い、新しい気づきになります。そして何
より、選りすぐりのエピソードが集まるので選考の段階からとても楽しい！

みんなの思いがギュッと詰まった「たびだちメモリプレイ」が披露される日を楽しみにし
ていてください！詳細は後日発表になります。

(アヤノ・F)



メンバーからのお祝いメッセージ



南さん



上野さん

ど^{しんぶん}ん^{ごう}ど^{ぼっすい}ん^{ごう}新聞No.176号から抜粋しています

ど^{しんぶん}ん^{ごう}ど^{ぼっすい}ん^{ごう}新聞No.176



は^{はつこうび}つ^{ねん}こ^{がつ}う^{にち}日 2019年 6月 4日
は^{はつこうしゃ}つ^{しりつせい}者 自立生活センター・ど^んど^ん
お^おお^ささ^かし^いく^のく^たじ^ま 大阪市生野区田島1-10-30
tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



し^もは^んき ^かい^ぎ
下半期ど^んど^んフ^ロジ^ェク^ト会^ぎ議^ぎを^しま^した[!]

に^ちじ ^{ねん} ^がつ ^にち ^もく ^ばし^ょ ^{かい}
日時:2019年3月21日(木) 場所:ど^んど^ん 1階

い^いろ^いろ^はな ^あ
◆色々話^し合^った^ぞ~!

2018年度下半期のふり^{かえ}返^りを^しま^した。写^し真^を見^なが^ら「お^{なべ}鍋^おい^しか^った^な~」と新^{しん}年^{ねん}会^{かい}の^はな^し話^もで^あり^あが^りま^した。2月^がつに^は「ぱ^れっ^と」さん^に交^{こう}流^{りゅう}に^いっ^た T^{さん}は^かっ^こい^い人^と出^{であ}い^い、ド^きド^きし^たこ^とを^おし^えて^くれ^まし^た。

ス^たフ^フ懇^{こん}談^{だん}会^{かい}が^でき^なか^った^いう^話に^なり[、]「や^りた^い人[!]」と^き聞^きく^と K[・]S^{さん}、Y^{さん}、K[・]Ya^{さん}が^さつ^とあ^げま^す。と^ころ^が K[・]K^{さん}は^てあ^げま^せん。「い^いた^いこ^とな^いの^{!?}」と^おど^ろみ^んな^あお^どろ^いて^いま^した。

N^{さん}は^{よう}じ^があ^った^よう^で、あ^さす^こから^さん^か少^{すこ}し^じか^んだけ^{つる}参^{さん}加^かし^じ間^{かん}に^なる^と鶴^{つる}橋^{はし}へ^で出^でか^けて^いき^まし^た。H^{さん}も^とち^{ゆう}お^でか^け途^と中^{ちゆう}で^よ寄^よっ^た K[・]Yu^{さん}に^さそ^われ[、]コ^りア^ンタ^ウン^に出^でか^けて^いき^まし^た。

お^{ひる}昼^{はん}ご^飯の^あと^はみ^んな^{ねむ}眠^そう^だっ^たの^で、K[・]S^{さん}が^も持^もっ^てき^た CD^をき^きい^てリ^フレ^ッシュ^しま^す。M^{さん}は^はや^りの[“]USA[”]を^{ひろう}披^ひ露^ろし^まし^た。

こ^ご午^ご後^ごから^{さん}参^{さん}加^かの^Tさん^は、^へ部^や屋^をに^いっ^てく^ると^みん^なの^{かお}顔^を見^みて[「]あ^れー[?]あ^れー[?][」]と^にこ^にこ^して^いま^した。

あ^たら^あた^ら ^もく^ひょう^{やく} ^{わり} ^き
新^あし^い目^め標^{ひょう}や^り役^{やく}割^{わり}も^き決^きま^りま^した。M^{さん}は^{だい}代^{ひょう}表^{りょう}に^りっ^こう^ほ立^た候^{こう}補^ほし^まし^たが[、]初^はめ^てな^ので^まず^は“^{だい}代^{ひょう}表^み見^み習^{なら}い[”]から^やる^こと^にな^りま^した。

2019年度も“ど^んど^ん”^{かつどう}活^{かつ}動^{どう}す^るぞ~!!

2019年度^{ねん}の^どん^どん^の目^{もく}標^{ひょう}

〇交^{こう}渉^{しやう}で^ま負^まけ^ない^よう^に頑^{がん}張^ぱる^ぞ!

〇あ^わて^ない^あわ^てな^い ^{ひと}ひ^とや^{やす}み ^{ふた}ふ^たや^{やす}み



スタッフ子育て日記



あるファイナンシャルプランナーさん曰く、家族で遊ぶ娯楽費は節約しなくていいそうです。なぜならそんなことができる機会（時間）は限定されているので、一緒に遊べる今をよりの楽しむべし！とのことでした。

そんな言葉を真に受けて（贅沢三昧はできないものの）子どもと遊ぶ時間だけはたくさん取っていこうと邁進中の父です。冬のスキーボードに続き、この夏も川に海に湖と夏らしいことを親子で満喫して、父娘ともに日焼けして真っ黒です（笑）。娘も当会のイベントに参加する機会が増えて、父だけ参加すると「お父さんばかりズルい〜」と責められます（困）。

このように一緒に楽しんでくれるものの、娘も小学2年生、父と遊んでくれなくなる日々も刻々と迫っているのも事実です。すでに今も友達と遊びに行くのが最優先で、その次に父が誘われる感じです。それが成長している証と思う反面、もう数年もすれば思春期に入り更に接点も減るのかと思うと父としてはやっぱり寂しい限り（哀）。父としても子どもと遊ぶことが仕事のモチベーションにもなっていたりもする訳で、もうエゴかもしれないですが遠くへの2人旅とかもしたい！そう、正直なところ、自分自身が子どもに遊んでもらっているのです。なので、親離れした後の父の趣味や遊びをみつけておかねば〜と考えていた矢先に、娘、プロ野球に大に関心を持ち始める。選手のデータなどコレ役に立つのか？って知識を凄く覚えてきて心配なくらいですが…。

まあ、飲み屋のおじさんが話しているような野球話を一緒にできるので父とのコミュニケーションには役立ちそうです。大人になったら、一緒にビールを飲んで観戦するのは楽しみだな〜。娘もこの先、他にも何に興味を持つかわかりませんが、今しかできないことをたくさん経験しているんな世界を知ってもらいたいものです。そこに父も便乗したいのが本音ですが、過干渉してウザい親父と思われぬように父も適度な距離をとる練習をしていき、娘の意思を尊重し認めてお互いが成長していけたらと思っています。（ミノル・T）

助成金報告

どんどの備品購入および活動費として、公益信託区制50周年記念生野ふれ愛基金より9万円を助成していただきました。ありがとうございました。

わたしたちは地域で暮らしているんだ



はくないしょう りよくないしょう しりよく くる
 白内障、緑内障と視力に苦しんでいたKさん。ずっと通っている眼科で5月から6月に
 かけて手術をする事が決まりました。しかし初めての入院、初めての全身麻酔、初めての
 手術と初めて尽くして不安がいっぱいです。とは言え手術は全身麻酔。本人も気付かない
 うちに無事に終わりました。しかし手術が終わると後は寝るかヒマを持って余すかしかする事
 がありません。

そんな時に勤務の合間を縫って馴染みのヘルパーがお見舞いに来てくれました。元々話好
 きのKさんですから、たくさん話をしてご満悦。それからもお見舞いには親族、後見人、す
 きっぷのスタッフ、作業所のスタッフ等々たくさんの方が来て下さいました。これも人徳と
 いうものでしょうか？

入院せずに済めばそれに越した事はないのですが、久しぶりの人と話が出来たり、食べ
 きれない程のお見舞いを頂いたり、足を運んでくれた人たちのおかげで意外と楽しい入院
 生活を送ることができたようです。 (コウハイ・O)

出発のなかまの会の応援よろしくお願ひします！

いつも当会の活動にご支援いただきありがとうございます。今後も“地域で支援を必要と
 している人”に必要な支援ができるように、“生きにくさを抱えた人”が社会から孤立するこ
 とがないように、当事者の方や地域の方と共に、日々の活動をとおして『地域』づくりの取
 り組みをすすめていきたいと思ひます。正会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご
 支援ください！

◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方
 会費3,000円+通信送料300円 計3,300円

◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方
 寄付金 年間3,000円以上

★認定NPO法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置
 【所得税・個人住民税(大阪市内・府内にお住まいの方)】を受けられるようになりました。

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

NPO 総会 & どんどん総会を終えて

2019 年 5 月 25 日（土）に KCC 会館 5 階ホール（生野区）にて、第 20 回定時総会をおこないました。当日は 117 名の出席（うち委任状出席者は 27 名）で、定款に定める総会として進めることができました。

今回も、たくさんの写真をスクリーンに映して事業報告や事業計画の説明をおこないました。写真を映すことで、普段の活動をあまり知らない会員さんや御家族のみなさんにも、よりわかりやすくなっていたと思います。写真を見るとみなさんいろいろ思い出すようで、「あんなことやったね！」「おもしろかったわ！」と楽しみながら 1 年を振り返ることができました。作業所の活動、グループホームでの暮らしや台風被害について、知的障がい者（児）ガイドヘルパー養成講座開講など様々な活動について報告しました。説明するスタッフもできるだけたくさん活動の様子を伝えたいという思いから、いつも時間がおしてしまいます。2019 年度事業計画では、出発のなかまの会 40 周年記念事業、秋に開所予定の障害児相談支援事業についても報告しました。続いて、決算報告、予算報告、新役員就任、相談支援事業開始のための定款変更も承認されました。

後半は、自立生活センター・どんどんの総会です。今回もメンバーたちは、それぞれ役割を決め、報告や発表の練習を何度もおこない総会に挑みました。2018 年度も、たくさんのメンバーが、講演会や学校の授業で、自分の暮らしや趣味・仕事の話をしました。“ヘルパー・どんどん・かも〜ん・プロジェクト”では、ヘルパーやボランティアに来てもらうために、何校もの学校を訪問し、募集チラシを配らせてもらいました。（その時応募してくれた 4 人の学生さんは、現在もお仕事をしてれています）。交渉では、自分たちの思いを届けるため勉強会をおこない、当日もしっかり発言しました。2019 年度は、『交渉で負けないようにがんばるぞ!!』『あわてない あわてない ひとやすみ ふたやすみ』の 2 つの目標が決まりました。メンバーのピアノ伴奏に合わせ、参加者みんなで恒例の【どんどんの歌】を大合唱し、総会は幕を閉じました。

出発のなかまの会は 40 周年を迎え、総会も第 20 回を迎えました。これまで寄付者だった方が会員になってくださったり、松野農園やその他いろいろな活動を通して、当会の活動にご賛同いただき、寄付者になっていただけの方が少しずつ増えています。いつも温かいご支援・ご協力本当にありがとうございます。2019 年度も認定 NPO 法人として、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わり、地域の方々と連携して、活動を進めていきたいと思っております。

（ヨシミ・I）

活動のあと

5/7~30 「ざわめき」と「しずけさ」の融けあう展 vol.5 (区民ギャラリー)	7/5 グループホームスタッフ全体会議
5/8 生野区学童期の子ども支援連絡会役員会 生野区グループホーム連絡会世話人会	7/5~7 大阪キャンプ エグモント夏の講習会 2019
5/9 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	7/7 奈良・アピタ「ideaの島々」展アーティストトーク
5/1 執行委員会/グループホームスタッフ全体会議 出発通信発送	7/9 Nさん東京旅行報告会
5/11 ちまたのコンサート/障大連総会	7/10 対府交渉総決起集会・デモ行進 生野区学童期の子ども支援連絡会役員会
5/12 内部研修(グッドスタート会議)	7/11 どんどん学習会(対府交渉)/通信編集委員会 生野区相談支援事業者連絡会 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
5/15 理事会/生野区学童期の子ども支援連絡会	7/12 集団指導(児童)
5/17 食と農のプロジェクトをすすめる会(たいちハウス) どろん(松野農園)	7/13 奈良あかるいみらい準備室講演(どんどん)
5/18 豊能春のバザーに出店/読書会(松野農園)	7/16 大阪府オールラウンド交渉①
5/19 サラダボウルプログラム(松野農園)	7/17 大阪府オールラウンド交渉② 生野区グループホーム連絡会世話人会 生野区学童期の子ども支援連絡会
5/21 ちゅうぶ&どんどんランチ交流会	7/18 自閉症連続研修会①/防災委員会/保険委員研修会受講 障大連・連続研修会 2019 「障害者の健康な暮らしづくり①」
5/22 生野区 NPO 連絡会	7/19 ケア研修①「応急処置・食事」 食と農のプロジェクトをすすめる会(松野農園) 生野区 NPO 連絡会総会
5/23 生野区相談支援事業者連絡会	7/21 みらくるクラブ【キャンプ準備登山】(金剛山) サラダボウルプログラム収穫祭(松野農園)
5/24 ケア会議/地域共生ケア生野推進委員会 障大連運営委員会	7/22 ケア研修②「応急処置対応&食事支援について」
5/25 NPO 総会・どんどん総会	7/23 防火管理者講習①受講
5/27 強制不妊手術裁判傍聴(4 回目公判) 生野子育て社会化研究会 障大連・連続研修会 2019 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算①」	7/24 防火管理者講習②受講/作業所ミーティング 生野区 NPO 連絡会
5/28 作業所ミーティング	7/25 八尾事件を考える会
5/29 執行委員会	7/26 どろん(松野農園) 公益信託区制 50 周年記念生野ふれ愛基金授与式(どんどん) 地域共生ケア生野推進委員会/障大連運営委員会
5/30 みらくるクラブキャンプ会議	7/27 読書会(松野農園)
6/4~28 紫陽花ギャラリー出展	7/29 障大連・事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
6/5 ひきこもり・不登校支援連絡会	7/30 どんどん勉強会(健康編)/医療的ケア意見交換会 知的障害者ガイドヘルパー養成講座講師(松原高等学校)
6/6 厚生労働省との意見交換会	7/31 執行委員会
6/7 グループホームスタッフ全体会議	8/2 グループホームスタッフ全体会議
6/8 みらくるジャンプ(松野農園)	8/4 みらくるクラブ【キャンプ準備】(すきっぷ) 夏季インターン受入開始
6/9 サラダボウルプログラム(松野農園)	8/6 自閉症連続研修会②/作業所そうめん流し ランチタイム落語会(松野農園)
6/11 大阪府民間社会福祉事業従事者等資格向上研修受講	8/7 内部研修(てんかん発作)/生野区グループホーム連絡会
6/12~14 Nさん東京旅行	8/8 ヘルパー座談会/生野区自立支援訪問系事業者連絡会
6/12~13 但東町キャンプ	8/16 食と農のプロジェクトをすすめる会(てんぷらー)
6/12 生野区学童期の子ども支援連絡会役員会 生野区グループホーム連絡会	8/17 ふれーばーく(ヨルダンひろば)
6/15 内部研修(発達障害勉強会)/読書会(松野農園)	8/20 相談支援事業指定申請
6/16 みらくるクラブ【そうめん流し】(松野農園)	8/22 生野区相談支援事業者連絡会
6/18 感染症・食中毒予防対策研修①/みらくる学習会① 障大連・連続研修会 2019 「発達障害者・精神障害者支援について」	8/23 消防訓練(とりの木)/障大連運営委員会 地域共生ケア生野推進委員会役員会
6/19 どんどん勉強会(強制不妊手術 DVD 上映) 生野区学童期の子ども支援連絡会	8/24 旭区子ども応援セミナー講演(どんどん)
6/20 どんどん勉強会(対府交渉) 関西大学堺キャンパス講演(どんどん) 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	8/25 サラダボウルミーティング(松野農園)
6/21 感染症・食中毒予防対策研修② 食と農のプロジェクトをすすめる会(松野農園)	8/26 障大連・連続研修会 2019 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算②」
6/22 みらくる学習会②	8/27 安全委員会
6/24~7/7 奈良・アピタ「ideaの島々」展 出展	8/28 作業所ミーティング/生野区 NPO 連絡会
6/24 成年後見制度学習会/地域共生ケア生野推進委員会役員会	8/29~31 神奈川旅行
6/25 執行委員会/作業所ミーティング	8/29 執行委員会
6/26 生野区 NPO 連絡会/生野区相談支援事業者連絡会 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	8/30 自閉症連続研修会③
6/28 どろん(松野農園)	8/31 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座① 内部研修(発達障害勉強会)
7/2~5 北海道旅行	
7/3 みらくる学習会③/感染症・食中毒予防対策研修③	

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行
 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル 4 階 頒価百円

編集後記

外で遊ぶ子どもたちや水浴びをする犬猫たち。そして路上にいるセミ。何年たってもいさなり鳴くセミは天敵ですが、これを見ると夏だなあとしみじみ。今年は酷暑で、とても暑い日々が続きましたが、皆さんの夏はいかがでしたか？

(アヤノ・F)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会
 〒544-0011
 大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内
 TEL 06-6758-6641
 FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080
 (特定非営利活動法人 出発のなかまの会)
 Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp
 ホームページ http://www.tabidati.jp/ 750 部